

第40回広島県緑の少年団 交流集会（活動発表会）

開催概要

・主旨：県内の緑の少年団が一堂に会し、自然に親しみながら、相互の研さん、交流と親睦を図るとともに、自律・友愛・協同・奉仕の心を養うため、交流集会や活動発表会を開催している。
 なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、Webでの活動発表会を開催した。

日時：令和4年8月3日（水）10時20分～11時30分

場所：Webで開催（各緑の少年団は地元から代表のみが参加）

主催：広島県緑の少年団連盟
 参加団体：4団体

可部南グリーンズ緑の少年団
 切串緑の少年団

□ビデオ参加
 東城みどりの少年団
 吉和緑の少年団

開催次第

まず、広島県緑の少年団連盟竹本泰隆会長が開会のあいさつを行い、



次に、各緑の少年団から日頃の活動内容を発表した後、意見交換を行った。なお、感染防止のため、一部は事前に撮影したビデオで参加した。

各緑の少年団の主な活動内容

■可部南グリーンズ緑の少年団（広島市）

少年野球を母体として、子ども達の人間性の幅を広げるため、少年団としても毎月活動している。日常の活動場所以外に、みどりの集い、ひろしま山の日県民の集い、緑の少年団交流集会、自然体験思い出づくり、卒団記念植樹と県内各地に出かけて、森林や自然とふれあい、日常では体験できない様々な活動を行っている。



■切串緑の少年団（江田島市）

学校での緑化活動や学校の南に位置する古鷹山にある学校林での森林体験活動を行っている。豪雨災害で被災した学校林をみんなで復旧・整備したり、古鷹山ピオトープを整備するために、植物を植えたり、生物を観察したりしている。更に、海に近いことを活かして、さとうみ学習も行っている。



■東城みどりの少年団（庄原市）

学校での花いっぱい運動や委員会活動で育てた花を地域へ贈ったり、地域の伝統行事の大山供養田植えに参加したりするなど様々な体験を行っている。地域の豊かな自然を利用した特徴的な活動も行っており、学校の裏山をネイバーランドと名付け、森林の働きや整備の方法を学ぶ場としている。

■吉和緑の少年団（廿日市市）

小・中一貫校であることを活かして、学校や周辺での緑化活動の他、小中学生が連携して吉和地域の優れた自然環境を学ぶため、森の植物観察、川の生き物調べや水質調査、野鳥観察等の自然観察を行っている。また、安田林業での苗木作り等の職場体験（中一）を通じて、普段は気付かない自分達が住んでいる地域の素晴らしさを改めて実感することに繋がっている。

